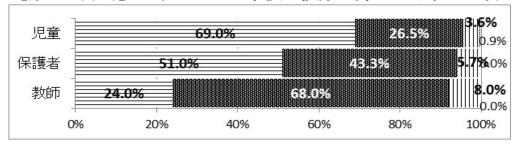


第13号

令和5年3月7日

卒業おめでとうございます (金)の卒業式では、6年生が中小田井小学校を巣立っていきます。保護心からお祝い申し上げます。6年生の子どもたちの中学校での一層の活躍 3月17日(金)の卒業式では、6年生が中小田井小学校を集立の皆様には、心からお祝い申し上げます。6年生の子どもたちの時が、卒業式では、笑顔で門出を祝いたいと思います。「学校教育に関するアンケート」へのご協力ありがとうございる析して課題を明らかにし、次年度に生かしていきたいと思います。 ございました。今回の結果を分

子どもは、学校の授業が分かりやすいと言っている。 【確かな知力】



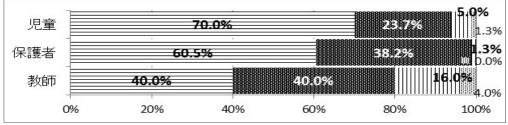
はい どちらかといえば はい どちらかといえば いいえ いいえ

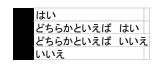
「はい」、「どちらかといえば はい」を合わせると、児童は 95.5 %、保護者は 94.3 %、教師は 92.0 %から回答が得られました。このことから、分かりやすい授業が行われてい たと捉えています。

しかし、一方で、「いいえ」「どちらかといえば いいえ」と答えた児童もいました。授 業が分かりやすく、楽しいと感じることができるように、個々のつまずきを把握し、児童 一人一人に合った指導を行い、基礎・基本の確実な定着を図ることや、興味、関心を引き 出す課題の提示の仕方や、教材、教具の活用の仕方の工夫などを行い、全員が「分かった」 「なるほど」と思える授業作りに努めていきたいと思います。

また、授業内容を確実に理解し、定着させていくためには、学んだことを復習すること が必要です。学校では、授業で学んだことの確実な定着を図って宿題を出すことがありま す。ご家庭でも、宿題を連絡帳で確認したり、声掛けしたりしていただきますようお願い します。

【健やかな身体】 子どもは、交通事故やけが、病気の予防に努めている。





「どちらかといえばはい」を合わせると、 児童は93.7%、保護者は98.7%、 教師は 80.0 %から回答が得られたことから、多くの児童が健康や安全に気を付けて生活

をすることができたと捉えています。 本校では、健康で、安全に暮らすことができるよう、年間で計画を立てて保健指導、生 活指導に取り組んでいます。例えば、健康診断に合わせて自分の身体の状態を把握させた り、外で遊ぶことが多くなる時季には安全に気を付けるよう週目標を設定したり、かぜや インフルエンザが流行する季節には、手洗いやうがいの励行を呼び掛けたりしています。

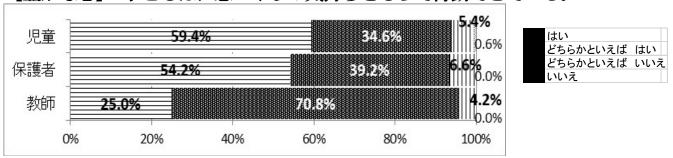
今年度も特に、新型コロナウイルス感染拡大防止に対する意識の高さが、この項目の数 値の高さにも表れていると考えます。

また、交通安全については、発達段階に応じた交通安全指導を行ったり、機会を捉えて 交通事故に気を付けるよう繰り返し呼び掛けたり、交通安全に対する意識の向上を図って います。今年度実施できた交通安全教室を、来年度以降も引き続き計画しています。

ご家庭でも、回り道になっても横断歩道を渡ること、交差点で左右を確認すること、自 転車乗車時にはヘルメットを着用することなどの声掛けをお願いします。

また、適度な運動や規則正しい生活をすることは、より健康で、安全に過ごすために必 要なことですので、ご家庭でも、お子さんに声掛けをしていただくようお願いいたします。

【豊かな心】 子どもは、思いやりの気持ちをもって行動できている。

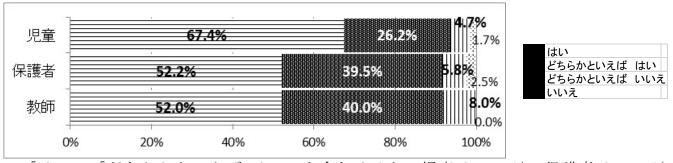


「はい」、「どちらかといえば はい」を合わせると、児童は 94.0 %、保護者は 93.4 %、教師は 95.8 %から回答が得られたことから、多くの児童が周りの人に優しい思いやりの気持ちをもって行動できていると捉えています。

児童の中で周りの人に優しく思いやりの気持ちをもつことに対する意識が高まっている ことが考えられます。

また、一方で、学校生活の中で、児童間で気持ちの行き違いがあったり、相手のことを思いやることができなかったりすることもあります。互いのコミュニケーションがうまくできていない様子が見られた時には、教師がそれぞれの児童から話を聞き、児童と一緒に解決方法を考えていきたいと思います。また、子どもたちが互いに良い関係を築くことができるように、スクールカウンセラーとも連携しながら、子どもたちの心の状態にも気を配っていきたいと思います。

【学校努力点】子どもは、進んでタブレットを活用している。



「はい」、「どちらかといえば はい」を合わせると、児童は 93.6 %、保護者は 91.7 %、 教師は 92.0 %から回答が得られたことから、多くの児童が進んでタブレット活用してい ると捉えています。

タブレット学習が導入され、様々なメリットとデメリットが明らかになってきていると考えられます。今後も、タブレットを使った授業実践を行い、どのような活用をすると、教育効果が高いかを確かめ、活用方法を共有していきたいと思います。

また、中小田井小学校の教育をよりよくしていくために、貴重なご意見やご要望をいただき、ありがとうございました。今年度から、アンケートをWEB集約にしてから、回答率があまりよくありません(昨年度まで、ほぼ100%の回答率でした)。今後も、多くの保護者からのご意見をお聞かせ願いたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。「プリント類の配布を減らしてメールやきずなネットで配信して欲しい。子どもがなくしたり、配布漏れがあるため」というご意見に関しては、今年度12月から学校だより、年だより、月行事予定のメール配信を導入しました。他のプリント類についても、メール配信について検討したいと考えています。「旗当番をしていて、挨拶をする児童が少ない」というご意見がある一方、「旗当番をしていて、自分から挨拶をしてくれる子供が増えられしく思います。また、困っている子がいると進んで声を掛け助けている姿を見て、まれしく思います。また、困っている子がいると進んで声を掛け助けている姿を見て、強心できる児童が増えて、より素敵な中小田井小学校になるように、家庭と学校が協力していくことができることを切望します。

2月28日(火)に行われた学校評議員会で、以上のアンケート結果を学校評議員の皆様にお知らせいたしました。アンケートの結果や学校評議員の皆様のご意見に耳を傾けながら、それぞれの課題を十分に検討し、次年度の教育活動に生かしていきたいと考えています。今後も本校の教育活動に、ご理解とご協力をお願いいたします。